

風物詩

能勢人形浄瑠璃「鹿角座」

大阪府の最北端に位置する能勢町では、200年前から語りと三味線からなる“素浄瑠璃”が盛んで、現在も地域の文化として、多くの人に親しまれ愛されています。'99年には<能勢の浄瑠璃>として国の無形民俗文化財にも選択されました。



'93年にオープンした浄るりシアターでは、“素浄瑠璃”の発展継承と、それを活かした創造活動を進めるため、'98年に人形と囃子を加えた人形浄瑠璃一座<ザ・能勢人形浄瑠璃>を立ち上げました。地元の主婦や学生達で構成されたメンバーは、人形浄瑠璃文楽座の指導の下、毎年6月（6月能勢浄るり月間）の定期公演と町内外からの年間20件を超える依頼公演に向けて日々稽古に励んでいます。昨年10月には町制施行50周年を機に、一座を<能勢人形浄瑠璃鹿角座>と名称を改め、劇団として組織化を



図り旗揚げ公演を行いました。あわせて「全国人形芝居サミット&フェスティバル」も開催し、<能勢人形浄瑠璃鹿角座>の旗揚げを広くアピールしました。

今年6月の公演は、能勢に人形浄瑠璃が誕生して10年の節目となります。上演演目はデビュー作品である「能勢三番叟」・「名月乗桂木」、また、三味線と囃子の組曲として始まり、語りと人形を加え人形浄瑠璃としてバージョンアップした「風神雷神」のオリジナル3演目。また、素浄瑠璃で「日高川入相花王」を能勢こども浄瑠璃が上演します。伝統を重んじながらも、その中に能勢のオリジナリティーを意識した舞台創りに努め、バラエティー豊かな内容で開催いたします。



● お問い合わせ先 ●

浄るりシアター
大阪府豊能郡能勢町宿野30（火曜日休館）
TEL：072-734-3241
FAX：072-734-3240
<http://www.town.nose.osaka.jp/jyoruri/index.htm>
E-mail：jyoruri@town.nose.osaka.jp